

夏休み中の図書館はいつもの利用者に加え、夏休みの課題解決のための調べものをする親子連れたちでにぎわいを見せていました。よく利用された分野は、星、天気、台風、氷と水、水辺の生き物、それとテレビ番組の影響でしょうかカブトムシに関するものでした。それに対して、課題図書や工作関係の本への集中がなかったのが今年の特徴といえます。また、貸出点数・入館者数的には通常月より2割ほどの増となりました。多数のご利用ありがとうございました。

一方、利用の多さに伴う騒音に対する苦情も寄せられました。極力注意したつもりですが行き届かなかったこともあるかと存じます。お詫び申し上げます。図書館でのマナー（私語・雑談、走る、騒ぐなどはしない）をご理解いただき、ますますのご利用をいただきますことを願っております。

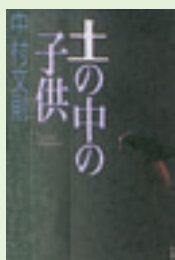
新着コーナー

◇一般書◇

『土の中の子供』

中村文則著／新潮社
私は土の中で生まれた。親はいない。暴力だけがあつた。ラジオでは戦争の情報が流れていた…。

第133回芥川賞受賞作。



『今ここにいるぼくらは』

川端裕人著／集英社
今も自分の居場所を探しているすべての大人たちに。あのころもこれからも、きっと宇宙にまで、あなたと少年の心臓を貫いて、川は流れているんだ…。



『移植病棟24時』 加藤友朗著／集英社

ヘリコプターで重症患者が絶え間なく送り込まれてくるER。全米でも屈指の患者数を誇るマイアミの病院でのヒューマン・ドキュメント。

『ちくちく針しごと』 伊藤まさこ著／集英社

『ジーニアス・ファクトリー「ノーベル賞受賞者精子バンク」の奇妙な物語』

デイヴィッド・プロッツ著、酒井泰介訳／早川書房

『何が危険なの？ ホームページ・メール・個人情報』

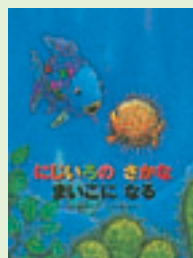
尾花紀子、高橋慈子ほか著／岩波書店

『世界おしかけ武者修行』 椎名誠著／文芸春秋

◇児童書◇

『にじいろのさかなまいごになる』

マーカス・フィスター作、谷川俊太郎訳／講談社
すてきな小石集めに熱中して、にじうおは、海の嵐に巻き込まれ、迷子になってしまいます。無事に仲間のもとへ帰れるでしょうか？



『ライオンボーイ3』

ジズー・コーダー著、枝廣淳子訳／PHP研究所
ライオンたちと別れ、両親に再会したチャーリーに新たな魔の手が…。カリブ海で運命の闘いが始まる。大冒険ファンタジー3部作の完結編。



『ヒロシマ、遺された九冊の日記帳』

大野充子著／ポプラ社
1945年4月6日、321人が憧れの「県女」広島県立広島第一高等女学校に入学。そして、8月6日の朝が来て…。残っているのはたった9人の日記帳。

『しろくまくんのながいよる』

ステイブン・サベッジ絵、ローラ・トンプソン文／ソニーマガジズ

おはなしの会

日時 毎週土曜日
9月3・17・24日(土) 午後2時～
10日(土) 午前10時30分～
場所 図書館内・おはなし室

展示コーナー

一般テーマ『ゆとりある人生』

ダイヤモンドでも金でもない、経験という財産を持ち、前向きな生き方をしている年齢層をプラチナエイジといいます。そんな人生を送ろうとしている人にも役立つ資料を揃えました。

児童テーマ『小動物が登場するおはなし』

小さな動物たちが、主役になって活躍する絵本を集めました。ほのほのして心がなごなお話がたくさんあります。